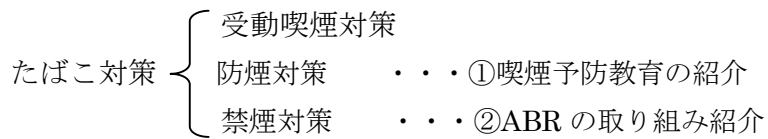


たばこ対策について



①小中学校での喫煙予防教室の実施



学校、保健師、健康市民おかやま 21 の地域ボランティアでプログラム作成。(例：友達に喫煙を誘われ時の断り方をロールプレイ実施)

平成 26 年度に 1 小学校で開始、平成 29 年度には 1 中学校、3 小学校に広がる。

<活動の有効性>

- ・地域住民に取り組めるようセット化した授業
 - ・セットの中に自他を尊重した自己主張方法の学習を盛り込む（ピアプレッシャー対策）
 - ・地域ボランティアの参加を通じた禁煙社会圧力の強化
- ★ボランティアの楽しさ・やりがい・自信が、さらに広がりを生んでいる

②禁煙のための短時間支援（ABR）の実施

H29 年度の ABR 実施状況

使用する場面	特定健診、がん検診等受診時	おやこ手帳（母子手帳）交付時	1 歳 6 か月児健診及び 3 歳児健診
	検診実施機関	保健センター、さんさんステーション	保健センター
対象者	特定健診、全てのがん検診、妊婦パートナー健診の受診者の内、喫煙者 チラシの内容を充実	妊娠届書のたばこの欄に、妊婦又は同居の家族が「吸う」に○を記入した市民	健康診査票の育児環境、お母さん（お父さん）は喫煙をしていますかの欄に「はい」に○を記入した市民
H 2 9 配布数	2 0,0 0 0 枚	2 0,0 0 0 枚	

○医療機関での禁煙治療受診の普及啓発 チラシ作成枚数 3,000 枚
健診・保健指導の場、医療機関の待合室、行政機関の窓口などで使用

※禁煙のための短時間支援（ABR）とは

検診受診時などに喫煙状況、関心度を把握（Ask）し、喫煙者全員に短時間の禁煙の重要性を高めるアドバイスを行い、禁煙のための解決策を提案する（Brief advice）保健指導を行い、禁煙の準備期にある人には医療機関等を紹介する（Refer）を行うことで、効果があることが研究されている。